

国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所

報告者



やまがた創造工学科 2名

受入先概要

- 国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 計画課
〒990-9580

山形県山形市成沢西四丁目3-55
TEL 023(688)8421 (代)

- 計画課課長 (防災課長兼任) 井上 秀秋 様

- 事業内容

直轄の道路、河川、ダム、砂防、港湾の整備及び維持管理、空港基本施設の整備のほか、建設業や不動産業 (宅地建物取引業) の許認可に関する業務や指導監督業務、建設関連の資格の取得に関わる行政機能などを所管している。

山形河川国道事務所では、最上川上流域の主要河川や一般国道13号・47号・48号・112号・113号の5路線について管理・整備を推進している。



インターンシップ (就業体験) 内容について

- 期間

平成23年6月21日 (火) ~ 24日 (金) の4日間

- 参加者

やまがた創造工学科3年生 住環境デザインコース土木分野 2名

- 目的

実践的体験を通して、教室で学んだことを総合的に学習、特に専門知識・技術を学び、今後の学習や進路活動に対する意欲向上、進路意識の啓発、勤労観・職業観の育成をはかる。また、異世代とのコミュニケーション能力の向上や企業の社会的役割の理解を促す。

- 生徒所見

(1) 南陽出張所職員の方や消防職員の方とともに重要水防箇所の合同巡視に加えていただき、水防の点検を体験を午前中にさせていただき、午後からは長井出張所の方と河川パトロールや簡易水質測定などを体験させていただきました。その際、除草作業をする機械を操作させていただきました。普段私たちの生活で気付かないところを支えてくれている人がいる事に気付きました。

(2) 道路パトロール、特に橋梁の点検を体験させていただきました。難しく大変でしたが、毎日誰かが使用してるからとても責任の重い作業だと思いました。午後から月山の除雪ステーションを見学させていただきました。大型の除雪機を拝見し、圧巻でした。

(3) この日は大雨が降り、急遽その対応を行わなければならないため、当初の予定と変更して災害対策を見学できました。県やメディアと連携をとりながら、雨量をみながら道路の通行止めをスムーズに行うための作業を拝見できました。部外者はいれない部屋に入ただけでも大変貴重な体験でした。また、3月の震災でも、職員の方々はすぐに集まりお仕事をされていたと聞き、人や生活を守る重要な仕事なのだと感じました。

(4) 東北中央自動車道 (米沢) の工事現場へ連れて行っていただき、高速道路を造る過程を説明していただきました。

4日間を通じ、私たちが何気なく生活しているのを可能にするのは、今回携わった方々がいらっしゃるからだとわかりました。そして、工業を学ぶものとして将来は守る側・造る側の人間になりたいと強く感じました。山形河川国道事務所の皆様をはじめ、今回お世話になりました方々へ深く御礼を申し上げます。



▲堤防除草作業体験



▲路面補修に挑戦中



▲大雨警報 (天気図確認作業)



▲巡視後の意見交換会に参加

校内発表会について

- 日程

平成23年6月30日 (木)

- 発表者

やまがた創造工学科3年生 106名

- 内容

5コース (電気エネルギー、メカロボ、情報メディア、住環境デザイン、創造工学) 内で、午前中に全員で実施報告を行い、コース代表者を2組選抜する。昼食をはさみ、本校特別教室にてやまがた創造工学科全体の発表会を行う。

上記2名は住環境デザインコースの代表として、(a) 受入先概要 (b) 体験内容説明 (c) 体験から得た事 (d) 今後への活用点 (e) 感想・所見 を約10分間で発表した。その後5分間の質疑応答の時間をとり、時間が足りない場合は規定の質問用紙に内容を記入し担当者に提出、後日担当者より回答を記入した用紙を返却させた。

- 所見

はじめての試みだったが、体験内容の見直しやプレゼンテーション能力の向上に繋がった。また、質疑の質・量をみても、他社への関心の高さや発表者への興味を感じた。また、積極性の向上にも繋がった。普通科の先生も含めて多数の見学者がおり、有意義な会となった。